

北里大学病院を受診された患者さん・ご家族の方へ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

| | |
|---------------------------------|--|
| 研究課題名 (整理番号) | 微乳頭構造を有する肺腺癌をモデルとした癌の転移・浸潤メカニズムの解析 (B09-033) |
| 当院の研究責任者 (所属・職位) | 医学部呼吸器外科学 准教授 三窪将史 |
| 他の研究機関 および 各施設の研究責任者 | 北里大学医学部病理学(教授 三枝信) 北里大学医学部病理学(教授 村雲芳樹) 北里大学医学部外科学(教授 山下継史) 北里大学医学部薬理学(教授 天野英樹) 北里大学医学部呼吸器内科学(准教授 佐藤崇) 北里大学病院病理部 (講師 松本俊英) 北里大学メディカルセンター 研究部門 バイオメディカル・ラボラトリー(上級研究員 福山 隆) 北里大学理学部(物理学科生命物理学講座・教授 小寺 義男) 北里大学医療衛生学部(教授 高橋 博之) 北里大学未来工学部(教授 河野 信) 神戸大学大学院医学研究科 消化器内科学分野 分子病態医学部門(特命教授 南 康博) マウント・サイナイ医科大学(助教 渡邊秀生) 東京医科歯科大学 M&D センター科学センター AI・ビッグデータ研究部門 AI 技術開発分野(講師 鎌谷高志) 東京大学大学院新領域創成科学研究科(教授 鈴木 穰) |
| 本研究の概要・背景・目的 | 微乳頭構造を有する原発性肺腺癌は早期でもリンパ節転移を来しやすく予後不良である。しかし、他の肺腺癌に比べて研究材料に乏しく、その病態解明や治療法開発のための基礎研究は限られているのが現状であり、解明されていない点が多い。そこで、当院における原発性肺腺癌の切除検体 1,000 例を対象として、病理検体および微乳頭構造を有する組織検体より樹立した細胞株を用いて、血管新生、増殖・浸潤能についての検討を行い、知見を踏まえて新たな肺癌治療法の開発に繋げる事を目的とする。 |
| 調査データ 該当期間 | 2009 年 6 月 30 日～2026 年 3 月 31 日までの情報を調査対象とします。 |
| 対象となる患者さん | 上記期間内に北里大学医学部呼吸器外科で当院に入院され、肺腺癌と診断された方 |
| 研究の方法 (使用する試料等) | 利用する情報 2009 年 6 月 30 日～2026 年 3 月 31 日までの電子カルテに記載のある診療記録、検査データおよび外科的に切除された手術検体と細胞診材料を利用します。臨床情報とこれらの試料を用いて微乳頭構造を有する原発性肺腺癌は早期でもリンパ節転移を来しやすく予後不良な微乳頭構造を有する肺腺癌の病態解明や治療法開発のための研究を行います。 |
| 試料・情報の 他の研究機関への 提供および提供方法 | 多施設共同研究であり、上記の他の研究機関・研究責任者へ提供します。 患者さんの個人情報は大学病院内においてのみ使用し、他機関へ提供する場合は匿名化します。また、検体から樹立した細胞株を細胞バンクへ登録したり、細胞から抽出した DNA、RNA、タンパク、もしくはそれらから解析された情報を以下の機関へ送付し、解析を委託したりすることがあります。 提供先: JCRB 細胞バンク(委託先: プロメガ株式会社)、サーモフィッシャーサイエンティフィック ライフサイエンスソリューションズ ライフテクノロジーズジャパン |

| | |
|---------------------------------|--|
| | <p>株式会社、九州プロサーチ有限責任事業組合、株式会社マクロジェン・ジャパン、タカラバイオ株式会社、ユーロフィンジェノミクス株式会社</p> <p>提供元機関の名称及び機関長の氏名：北里大学病院・病院長 山岡邦宏</p> |
| 利用又は提供を開始する予定日 | 利用又は提供開始予定日：研究機関の長の許可日から |
| 外国へ試料・情報の提供（含：研究機関や検査受託会社等の事業者） | <p>① 提供先国名：アメリカ</p> <p>② アメリカにおける個人情報の保護に関する制度については、以下をご参照ください。 （URL：https://www.ppc.go.jp/files/pdf/newyork_report.pdf）</p> <p>③提供先（研究者）が講ずる個人情報の保護のための措置 マウント・サイナイ医科大学（研究代表者 渡邊秀生）に自国の法令等に則ってプライバシーを保護する。</p> |
| 個人情報の取り扱い | 利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。 |
| 本研究の資金源（利益相反） | 本研究の遂行のための費用は、文部科学省の科学研究費、呼吸器外科学助成研究費、受託研究費を使用します。研究に関する利益相反は、北里大学利益相反委員会で審査を受け、適切に管理されます。 |
| お問い合わせ先 | <p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。2009年6月30日より現在までにご同意を頂いた患者様（患者様ご本人がお亡くなりになられている場合はご家族の方）で同意を撤回されたい場合や、提供して頂いた検体を外部に委託して解析することにご承諾頂けない場合は、研究の対象としますので、お手数ですが担当医または以下の連絡先にご連絡をお願いいたします。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた試料・情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 所属・職位：医学部呼吸器外科学・准教授 担 当 者：三窪将史（ミクボマサシ） 電 話：042-778-9112</p> |
| 備 考 | |